

2020年9月22日（火）、日帰りでしたが、伊勢まで行くことができました。

自分は " 詳しく " はありませんが純粋な気持ちで好きな鉄道会社として近鉄があります。近鉄が好きと言うよりは近鉄の汎用形特急車両による特急列車ネットワークが好きなのかなとも思います。正直、車両は詳しくはありません。知っているのは三代目ビスタカー（30000系）、スナックカー（12000系、12200系）位です。今回伊勢方面に出掛けるにあたりせっかくだから近鉄の12200系を見たい、乗りたいと考えてました。

祖母の出身地が伊勢の割には近鉄にはあまり縁がなくて過去に以下の特急列車に乗った事は覚えています。

- ・白子から近鉄名古屋（30000系、上か下かは忘れたが2階構造の部分に乗車した事は覚えています。座席周り、足回りが狭いの記憶）

- ・近鉄名古屋から志摩磯部
- ・志摩磯部から近鉄名古屋
- ・近鉄名古屋から鵜方
- ・鵜方から鳥羽（特急列車に乗らせる様なダイヤで少しむかついた記憶。）
- ・鳥羽から近鉄名古屋（12200系）

12200系が好きな理由として2両編成で軽食コーナーがあるだと思います。また鳥羽から近鉄名古屋まで乗車した時、今まで乗った近鉄特急車両より座席もいいし、足回りも余裕があるでビックリした覚えがあります。基本設計が昭和40年代でしたから尚更でした。

最初に

汎用形特急車両は全てデビュー当初から塗装変更無し、近鉄特急色（オレンジと濃紺）と思っていた。

汎用形特急車両の新塗装を見かけた時、全ての汎用形特急車両は新塗装へ変更になる予定だと思い込んでしまった。実際には12200系は近鉄特急色のままで引退予定。他の汎用形特急車両は新塗装へ変更済み。

12400系、12410系、12600系と12200系の区別ができなかった。前者は新塗装、後者は近鉄特急色（オレンジと濃紺）で区別できるのに番号だけで12400系、12410系、12600系を12200系と思っていた。

12400系、12410系、12600系と12200系が新塗装になったらどこで区別してよいか分からなかった。実際には12200系は新塗装への変更は無し。

近鉄特急色（オレンジと濃紺）なら12400系、12410系、12600系は30000系の塗り分けで12200系の塗り分けと異なっているので区別できた。
を記述しておきます。

9月22日（火）当日ですが午前11時頃に松阪駅近くでレンタカーの手続きをしていたら駐車場越し近鉄特急色（オレンジと濃紺）の賢島方面行きの12200系でないかと思われる車両が少しだけ見えたので12200系に乗るチャンスはあるなと思いました。チラッと見えた先頭車の塗り分けから12400系、12410系、12600系と12200系が新塗装でなければ判別できたので12200系と判断してます。またこの時点では12200系

は車輛数も少なくなかなか見れないかと思ってました。

22日当日の夕方にレンタカーを返却して東京への帰り、松阪駅の出札窓口で近鉄名古屋行きの特急の車両について聞いてみました。

- ・17時と18時の29分発が新型
- ・18時8分発がビスタカー

と言われたので松阪から12200系に乗るのは諦めました。

時刻を見たら17時9分、たった今出発した7分発の特急の後続の急行が出発するところでした。慌てて最低運賃の乗車券を購入し急行に乗りました。車掌さんが車内巡回にきたので車内精算ができるか聞いたらOK。近鉄名古屋駅までの乗車券を車内で購入しました。

この急行近鉄名古屋行きは、途中、特急列車に二本抜追い越されました。最初は近鉄四日市で赤の80000系「ひのとり」でした。名阪甲特急でした。次が近鉄弥富で新塗装の汎用形特急車両に抜かれました。松阪17時29分発の名伊乙特急で松阪から素直に乗るとしたらこの列車に乗っていたのではと思います。まずは、汎用形特急車両は新塗装なの？と言うかいつの間に塗り替えになったんだ！この汎用形特急車両は二階建てのビスタカーでなかったのに12200系だったかもしれませんと当時は考えました。

松阪駅の窓口氏、新型車両ではないの？汎用形？、、、新型車両でない汎用形特急車両は近鉄の昔ながらの特急色（オレンジと濃紺）ではないとなると12200系も新塗装があるのか。

ただ、これに乗るには桑名で乗ってきた急行を降りて後続の特急列車として乗り換える必要がありました。ちなみに抜かれた2本の特急は伊勢中川の短絡線の本線への合流地点から津の間は続行運転しています。

近鉄特急色（オレンジと濃紺）の12200系は追い抜いた2本の特急列車に充当されていなかったの、近鉄名古屋駅で見るに賭けました。この時点では12200系は車両そのものの両数が少ない、デビュー当初の塗装（オレンジと濃紺）、の印象があり、これにこだわりました。

米野駅（近鉄名古屋駅の一つ手前）に「お目当て」のデビュー当初の塗装（オレンジと濃紺）の12200系の4両編成が賢島行きの表示で停まっていたのですが、最も遠い賢島行きで、もう夜も遅い？？？し、明日の朝の列車に充当かなと思ってました。よくよく考えれば明日の朝の列車に充当でしたら賢島行きの表示を点灯ではなく消灯させておきますね。この12200系は行き先表示は点灯していましたから。

近鉄名古屋駅に到着したのが18時44分、ほぼ入れ違いで45分に出発した特急は見過ごしましたが、この頃からホームで特急列車の発着を見てましたが、、、まずは、これらの時間帯で賢島行きの4両編成があるか時刻表で調べれば良かった。その賢島行きが「お目当て」が来るかもしれないので。繰り返しになりますが、先入観でそろそろ長距離列車は終わりだろうと思ってました。

ホームで見えていたら特急列車は4番線と5番線で発着していますが、出発に関しては5番線が大阪方面、4番線が松阪、伊勢、志摩方面でした。

19時15分発の松阪行き、近鉄名古屋終着折り返し回送列車（19時25分に出発）の2本が新塗装の汎用形特急車両でした。前者が12400系、12410系、12600系のどれ

かの4両編成、後者は12400系、12410系、12600系のどれかの4両編成の賢島側に2両編成の22600系を連結していました。22600系は足下にグリーン車相当のフットレスト（東武のスペースアも同じ構造）がありこれまたびっくりしましたが。

12400系、12410系、12600系の新塗装の汎用形特急車両は12000番代だったので12200系と思ってしまいました。

近鉄特急色（オレンジと濃紺）の場合、12400系、12410系、12600系は30000系のデザインに近く、12200系とは明らかに異なるので分かりやすかったのですが、新塗装の場合、12400系、12410系、12600系だけでなく12200系も新塗装だと番号の区分ですらはっきりしない自分には識別ができなかったです。繰り返しになりますが、12200系は新塗装への対象外です。

19時15分発の松阪行きのあとは宇治山田行きや賢島行きのような長距離列車は無いだろうと思い、デビュー当初の塗装では無いけど12200系（実際は12400系、12410系、12600系のどれか）を2本見れました。あ、まだ走っている事は走っている。少し嬉しくなりました。

近鉄名古屋行き折り返し回送列車（19時25分に出発）が出発した後、4番線の電光掲示板を見ていたら19時45分の賢島行きとなり4両編成と表示されたので、もしかして米野駅に停まっていた12200系では？と期待して待ってたらその通りになりました。他の特急列車は一般の方も撮影されてましたが、特に難波行きの80000系「ひのとり」は大人気、この賢島行き12200系を撮影しているのは自分以外にいかにも鉄道ファンの2名のみ、笑。

あと12200系で驚いたのがマスコンがワンハンドルではなく、ブレーキハンドルは昔ながらのモノを使っていました。モーターもVVVFではなく昔ながらの音に聞こえました。

満足感一杯で19時45分発賢島行き12200系を見送って東海道新幹線で帰京しました。強いてあげれば一駅（桑名）だけでも12200系に乗って帰宅したかったかな。一駅だけ乗っても東京には充分戻ってこれました。

以上です。

後日追記

今になって思い出したら、松阪駅の窓口氏とのやりとり、会話の途中で「実は自分と似た様な人が居ると思いますが12200系に乗りたい。」と伝えた時、喫煙室付きかどうかで、暗に該当の列車には12200系は充当されていないを教えてくれたのでは？新型車両と教えてくれた二本についても、汎用形特急車両の中では新型であるの意味では。

アーバンライナー、伊勢志摩ライナーならズバリ形式を言うはず。レギュラーシート以外の席種があるのだから。実際にビスタカーは教えてくれたし。

当たり前と言えば当たり前ですが、当時、正しい情報を自分に提供してくれたと思います。近鉄弥富で汎用形特急列車に追い抜かれた時は、えっ、新型ではないんじゃないか、と思いました。